

今回は、「ウェブアクセシビリティ」について紹介します。「ウェブアクセシビリティ」とは、「高齢者や障がい者といったホームページ等の利用になんらかの制約がある人や利用に不慣れな人を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること」を意味します。NetCommonsによる学校ホームページの構築の際にも、年齢や障がい、利用環境によって生じる制約を可能な限り排除し、誰もが利用しやすいホームページの作成を心掛けてください。ウェブアクセシビリティについての以下の例を参考にしてください。

1 単語の文字間に空白（スペース）や改行を入れないこと。

音声読み上げソフトは、一連の単語として認識せず、内容を理解できない場合があります。

【読み上げ例】 「校 歌」→「こう うた」
「1 日 時」→「いち にち とき」

【実例】 「校歌」「1 日時」←単語の途中に、スペースや改行をいれない。

2 年月日及び時間などの表記については、記号を使用しないこと。

「/」「.」「:」などを用いると、音声読み上げソフトが正しく読み上げない場合があります。

【読み上げ例】 「12/1」→「ジュウニ スラッシュ イチ」
「8:00」 → 「ハチ コロン ゼロゼロ」
「12 時～14 時」 → 「ジュウニジ ナミセン ジュウヨジ」
「(水)」 → 「みず」

【実例】 「12月1日」「8時5分40秒」「12時から14時まで」「水曜日」

3 全ての画像には適切な代替テキスト(alt 属性)を設定すること。

音声読み上げソフトは、代替テキストがある場合には、その代替テキストを読み上げます。代替テキストがない場合には、その画像のファイル名を読み上げるため、ファイル名だけでは何の画像が表示されているか分かりません。単に「イラスト」や「写真」ではなく、情報の内容が伝わるように適切に設定する必要があります。

【実例】

